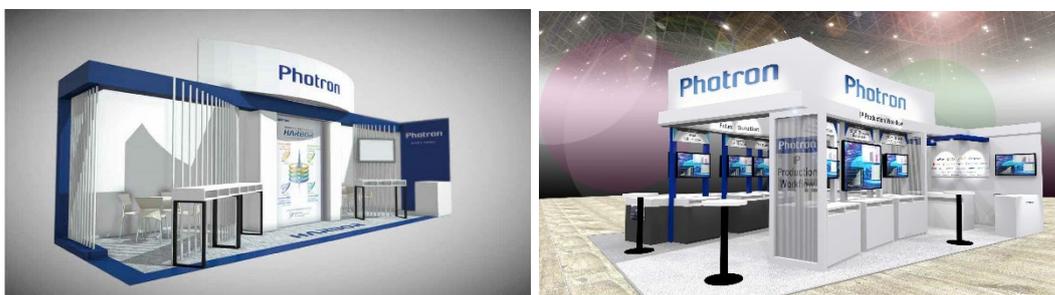


2024年11月1日

会場内3カ所にてAIを活用したソリューションや統合オーケストレーター、
ワークフローに合わせたネットワーク製品、クラウド活用のスポーツコンテンツ制作を出展

11月13日(水)から3日間開催「Inter BEE 2024」に出展

放送／映像関連機器の開発・製造・販売・輸出入を手掛ける株式会社フォトロン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 瀧水 隆)は、2024年11月13日(水)～15日(金)の3日間、幕張メッセで開催される日本随一の音と映像と通信のプロフェッショナル向け国際専門展示会「Inter BEE 2024」に出展いたします。



フォトロンブースイメージ【左：ブース番号 Hall7/7411、右：ブース番号 Hall7/7306】

出展コンセプト

フォトロンは今回、Hall7の通路を挟んで向かい合う2カ所とHall4のAWSブースに1カ所、計3カ所にブースを出展し、各ブースで取扱製品やソリューションの特色を活かした展示を行います。

Hall7 ブース番号 7306 では、「**新たな発見と繋がり**」をテーマに3つのゾーンを構成。AIを活用した各社ソリューションを展示する「Future Solution with AI ゾーン」、自社開発した統合オーケストレーター『STORC』を中心に統合ワークフローを紹介する「IP Production ゾーン」、そして「User Connection ゾーン」では、毎日閉会1時間前から弊社取扱メーカー各国のビールを提供し、お客様同士が交流できるスペースを設けます。

Hall7 ブース番号 7411 では、「**ひろがる、つながる**」をテーマに映像制作支援プラットフォーム『HARBOR』をはじめとしたネットワーク関連製品をご紹介します。

Hall4のAWSブース内に展開するブース番号 4203 では、「**スポーツコンテンツ制作におけるワークフローをすべてクラウドで実現**」をテーマに展開し、お客様のニーズに応じた情報提供を行います。

また、昨年に引き続き、Hall3で開催の連携企画「INTER BEE DX x IP PAVILION」に今年も参加します。4つの企画コンセプトのうち、「1. MoIP 基礎技術展示」「4. コンテンツ制作のDXを実現する5年後の世界」にEVS社『Neuron』等の機材提供と当社説明員がアテンドします。

Inter BEE 2024 ご来場の際は各ブースへぜひお立ち寄りください。

Inter BEE 2024 フォトロン出展内容

<https://www.photron.co.jp/event-seminar/interbee2024/>

出展内容

① Hall7 ブース番号:7306

「新たな発見と繋がり」をテーマに3つのゾーンでブースを構成

「Future Solution with AI ゾーン」、「IP Production ゾーン」、「User Connection ゾーン」で構成。「Future Solution with AI ゾーン」、「IP Production ゾーン」ではお客様の課題を伺いつつ新たな発見に至るような各製品のデモを実施、「User Connection ゾーン」ではお客様同士の交流から皆様の課題解決のヒントにつながる機会の提供を目指します。

1. Future Solution with AI ゾーン

◆ 【EVS】AI ソリューション Xtramotion Edge

AI がスーパースロー映像を生成する『XtraMotion(エクストラモーション)』に加え、被写体の背景を高精細にぼかす『AI Cinematic Effect(シネマティックエフェクト)』、動きの速い被写体のブラー&ノイズを効果的に除去する『AI DeBlur(デブラー)』を紹介します。

◆ 【Avid】Ada

ワークフローの効率化、制作プロセスの強化をサポートするデジタル・アシスタントです。人間のひらめきと人工知能の強力なコンビネーションが、冗長なタスクを処理することで、クリエイティブなコンテンツ制作と配信に集中できます。

◆ 【Insoundz】AI オーディオソリューション

『AudioMind for Studios』は、放送局などのスタジオでの音声収録の際、ピンマイク等の代わりにマイクアレイで収録し、AI 処理を行い、話者の音声を独立チャンネルでミキサーへ出力します。『Gen AI Audio Factory for Enterprise』は、Revive の AI 技術をベースにエンタープライズ向けにカスタマイズするサービスです。音声のエンハンス、ノイズ等の除去だけでなく、音楽やサウンドエフェクト等の特定のオーディオ要素の削除や抽出等にも対応しています。

◆ 【Vizrt】Viz Arc

『Viz Arc』は、AR やバーチャルセットを一元的に操作できるソフトウェア。Unreal Engine をサポートし、『Viz Engine』と Unreal Engine を単一のインターフェースから操作できます。『Viz Arc』のインターフェース作成には専門知識やプログラミングが不要で、パラメータ調整パネルやアニメーショントリガーボタンを素早く簡単に作成可能。様々な機能により、AR やバーチャルセットの制作にかかる時間的・技術的負担を軽減します。

◆ 【Comprimato】Twenty-One Encoder

高品位の映像圧縮技術を持つ Comprimato 社。ブースではソフトウェアベースでライブメディアの各種エンコード・トランスコード処理を行う『Twenty-One Encoder』にて、現場そして各種制作プラットフォームをシームレスにブリッジするデモをご覧頂けます。

◆ 【Haivision】ライブコントリビューションソリューション

『Makito X4』は超低遅延で鮮明な 4K UHD、HD、HDR ビデオをインターネット経由でストリーミング。『Haivision Pro』はセルラーボンディング対応の伝送プロトコル「SST」により、安定した高品質映像を実現。『StreamHub』は IP ストリームのデコード、トランスコード、収録、複数拠点配信をオンプレミスやクラウドで柔軟に行う統合ソリューションです。

◆ 【フォトン】Portour

運ぶ人のことを意味する『Portour』は、『Adobe Premiere Pro』タイムラインからタイトル、位置やスケールなどの基本エフェクト、オーディオチャンネルのマッピングを変換し、AAF 情報+素材ファイルとして『Avid Media Composer』へ受け渡すことができます。

◆ 【フォトン】Unreal シーンデータベースサーバ (参考出展)

高品位な Unreal セットを使用する上で、リハーサルでのデータ修正や制作データの更新など、各カメラ用レンダリングマシン間で UE データの同期作業が都度発生します。このような日々の運用負担を軽減するための Unreal データを同期・保存するシステムです。また、「使いやすさ・導入しやすさ」を考慮したシンプルな設計となっており、これにより Vizrt 社のバーチャルシステムと UE セットを組み合わせた運用を容易に実現します。

2. IP Production ゾーン

◆ 《国内初出展》【フォトン】セントラライズワークフロー 統合管理システム『STORC V2.0』

フォトンが自社開発した『STORC』は、異なるメーカーのデバイスを統合管理・一括制御する制作システムの統合オーケストレーターです。今回出展する『STORC V2.0』は、EVS 社 VIA サーバに加え、Telestream 社の『Live Capture』を新たにサポートし、EVS 社のブロードキャストコントローラー『Cerebrum』との連携も実現しました。会場では、VIA サーバと『Live Capture』を使用した SDI/IP/SRT 収録、『Avid MediaCentral』へのチェックインおよび『Avid Media Composer』による編集、Telestream 社のファイルトランスコード『Vantage』とビデオクオリティチェック『GLIM』、そして VIA サーバによるプレリアウトまでの実機デモをご覧ください。

3. User Connection ゾーン

◆ ハッピーアワーにて世界のビールを無料提供

3 日間の会期中、閉会 1 時間前(16 時 30 分頃)からは“ハッピーアワー”と称し、当社ブース内(7306、7411)で取扱メーカー各国のビールを無料で提供いたします。ぜひお立ち寄りいただき、ビールを味わいながらお客様同士の交流をお楽しみください。

Avid社、Telestream社:アメリカ合衆国、EVS社:ベルギー、Vizrt社:ノルウェー、フォトン:日本

② Hall7 ブース番号:7411

「ひろがる、つながる」をテーマにネットワーク関連製品を紹介

自社サービスの映像制作支援プラットフォーム『HARBOR』、テレビ CM オンライン搬入サービス『C.M. HARBOR』、映像ファイルのクラウド管理・ストレージ『TASKEE』を中心とした映像制作現場におけるネットワーク関連製品をご紹介します。さらには撮影・編集現場で役立つ新製品の参考展示も行う予定です。

◆ 《新製品》TASKEE 自動編集 e-sonira 連携

専用の動画編集ソフトウェアを PC にインストールせず、Web ブラウザ上の操作だけで動画の編集が行えるサービス。動画内の不要部分を自動で削除し、結合から納品ファイル作成まで行えます。クラウド上で作業が完結するため、使用 PC のスペックも問いません。

◆ MiniBOX (参考出展)

『HARBOR』をより便利で気軽に使用するために生まれた『MiniBOX』。専用回線や設置工事が不要で、既存のインターネット回線に接続するだけで『HARBOR』の転送サービスを利用できるため、例えば、地方ロケで滞在先のホテルからもご利用頂けます。

◆ Photron 次世代マルチストレージユニット (参考出展)

1台3役の次世代マルチストレージユニット。複数のHDD/SSD/外部メディアと接続しメディア同士の高速コピーするデュプリケーター機能をメインに、単体のストレージとしてNASの様にも利用できます。簡単操作で撮影ロケ地やスタジオでのデータマネジメントといった場面で威力を発揮。複数メディアからネットワーク越しのデータ送信等にも活用できます。

③ Hall4 ブース番号:4203(AWSブース内)

「スポーツコンテンツ制作におけるワークフローをすべてクラウドで実現」をテーマに出展

スポーツコンテンツ制作におけるクラウド活用のワークフローを参考出展。ライブ中継における収録から編集、配信までをクラウドで完結するサービスとなり、お客様のニーズに応じた情報提供を行います。

- ・常設とならないスポーツイベント対応システムへ投資しづらい
- ・急遽対応が必要となったスポーツイベントへ時間がない中でシステム構築が必要
- ・システム構築や運用できる人材がいらない

といったお困りごとがありましたら、ぜひブースにお立ち寄りください。

Inter BEE 2024 開催概要

- ◇ 名称 Inter BEE 2024
- ◇ 会期 2024年11月13日(水) - 15日(金) 10:00~17:30 *最終日は17:00まで
- ◇ 会場 幕張メッセ
アクセス：<https://www.inter-bee.com/ja/access/train/>
- ◇ 主催 一般社団法人 電子情報技術産業協会
公式サイト：<https://www.inter-bee.com/ja/>

【株式会社フォトロンについて】

- 本社：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング 21階
- 代表者：代表取締役社長 瀧水隆
- 創業：1968年7月10日
- 資本金：1億円
- 事業内容：IMAGICA GROUPグループ企業、放送用映像機器、民生用および産業用電子応用システム(CAD関連ソフトウェア、ハイスピードカメラ・画像処理システム、その他)の開発、製造、販売、輸出入
- URL：<https://www.photron.co.jp/service/videosolution/>

本リリース掲載の会社、商品、システム等の名称は、各社の商標または登録商標です。

【お問い合わせ窓口】 株式会社フォトロン 映像システム事業本部
TEL: 03-3518-6273 FAX: 03-3518-6279 E-Mail: sales@photron.co.jp